

令和二年度当初予算



鹿児島市長
下鶴 隆央

市民の皆さまと 直面する課題を乗り越え
確かな未来の礎を築いていきます

令和3年度が始まりました。

私にとりまして実質的な一年目が始動するに当たり、新型コロナウイルス感染症の拡大と人口減少の急速な進行という、これまで誰も経験したことのない事態に直面する中、「新しい時代に対応する鹿児島市」の創造に取り組んでいくための予算を編成しました。環境や社会、経済の変化を的確に捉え、アフターコロナも見据えながら、将来においても本市が持続的に発展していくための基盤づくりを目指してまいります。

コロナ禍の影響は、本市にも極めて厳しい財政状況をもたらしており、予算編成に当たっては、これを踏まえ、既存事業の徹底したしゅん別・直しや財源確保に努めたところです。

その中で、最優先かつ最重要の課題は、新型コロナウイルス感染症への対応です。市民の皆さまの、いのち、暮らし、しごとを守るための対策をスピード感を持って実施してまいります。

また、ICT(情報通信技術)の積極的な活用や、誰もが安心して子育てできる環境づくりなど、マニフェストを踏まえた事業をはじめ、諸施策に全力で取り組んでまいります。

この春、多くの方が新生活をスタートされることと思います。新しい環境や長引く新型コロナウイルスの影響の中で、精いっぱい前へ歩み出す方々へ心からエールをお送りします。私も、「市民のための市政」を掲げ、市民の皆さまと共に、躍動する鹿児島市づくりに積極果敢にチャレンジしていきます。

「新しい時代に対応する鹿児島市」の創造に向けて

1 重点的に取り組む4つの政策

新型コロナウイルス感染症など直面する課題や新しい時代の変化に的確に対応しながら活力ある鹿児島市を創造し、将来の世代に引き継いでいくため、多彩な魅力にあふれ、人もまちも躍動する鹿児島市づくりを進めます。

「市民のための市政」本市の持続的な発展を目指します！

1 新型コロナから市民のいのち、暮らし、しごとを守る

～徹底した感染拡大防止と社会経済活動の両立～
コロナ対策関係者会議経費、プレミアムポイント事業、感染症に強いまちづくり推進事業 など

2 鹿児島に稼げる仕事をつくる

～国際都市づくりの推進や新しい産業・仕事の創出、ICTの積極的な活用～
商工業振興プラン推進事業、ECサイト・ホームページ導入等支援事業、海外観光客特性・ニーズ調査・対応事業 など

3 全ての人に希望とチャンス。安心して生活できる鹿児島をつくる

～安心できる子育て環境づくりや福祉施策の推進～
保育士確保関連事業、認知症あんしんサポート事業、母校応援ふるさと寄附金事業 など

4 人口減少時代に生き残る鹿児島をつくる

～防災や環境など将来を見据えたまちづくり～
SDGs推進事業、防災ガイドマップ作成・配布事業、脱プラスチック生活チャレンジ事業 など

2 一般会計当初予算2662億円の内訳

今年度の本市の一般会計・特別会計・企業会計を合わせた当初予算は、4693億円。このうち一般会計当初予算は2662億円で、大型建設プロジェクトの減少や事業の見直しなどにより、前年度と比べて4%減の予算規模となりました。

【財政課 ☎ 216・1155 FAX 216・1162】

歳出で最も多いのは、子育て支援や高齢者の医療などに使われる民生費約1,333億円で、一般会計当初予算全体の約半分を占めています。

歳入で最も多いのは市税で、昨年度に比べ法人市民税や固定資産税などの減により約55億円の減額。国庫支出金は、都市基盤整備に要する経費の減などにより、約11億円の減額となりました。

